

## 令和元年度の田作り ～第13期大椎っ子田んぼ、第10期あすみっ子田んぼ 田植え編～

令和元年の小学校田んぼの田作りが始まりました。ほとんどが初体験の子どもたちの田んぼとの最初の出会いは「田植え」から。作業に臨む子どもたちの新鮮な感動の声をお送りします。なお、田植えは「泥ふみ」で地面を柔らかくした上で実施されます。また、作業と並行し自然観察が実施されます。自然観察では出会った生物に独自の名前をつけてもらいました(生物の詳細については紙面を改めて紹介します)。子どもたちは、それぞれの場面で感動を生き生きと語ってくれましたが、紙面の都合、泣く泣く多くを割愛しなくてはならなかったことをお許し下さい。

追伸) 感想の中で「くさいにおい」について多くの記述がありますが、学校田んぼでは糞を埋め戻す他一切肥料の添加は行っていませんよ。意外でしょ？

## ◎あすみっ子田んぼ(5月28日実施)

★とても大変でした、服はドロだらけになったり、腕までドロがついたり、始めは、あんまり早くできず、たおれそうにもなりました。でも、やっていくうちに、早くできるようになりました。農家の人はみんな、おいしいお米をとどけたいと一生けんめいに稲を育てていてすごいと思いました。(S.S)

★初めて田んぼに入りました。思っているよりも深く、土をふみするときに下は見えないし、はだしですこしこわかったけど、だんだん慣れて深いところまで行きました。枝や、石みたいのをふんで、痛くなったり、はまってでれなくなったり、でもみんなと一いっしょに協力し助けあって、楽しくできてうれしかったです。田んぼは海のおいしがしました。また、はだしで田んぼに入りたいです。(H.A)

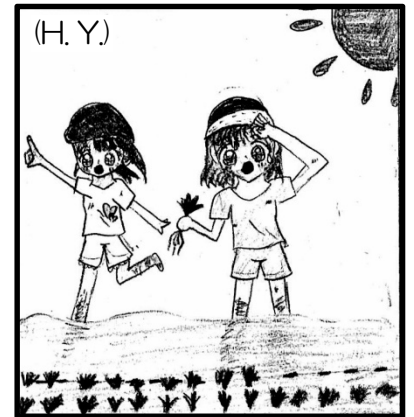
★初めて田んぼの中に入ったときは「なんだかどろろぐくにゃくにゃしてて変な感じだな...」と思ったけれど、だんだん慣れてボランティアの人達にも「上手だね」といわれました。「田んぼで働いている人たちはこんなに大変なんだな。普通にお米を食べていただけ、働いている人たちの気持ちがあるんだな」と思いました。(H.Y)

★私の頭にかんだのは、虫、くさい、きたなくなる、などの悪いイメージでした。実際に田植えの体験をしてみると、イメージしていたことはあたっていました。田んぼに入ったときは、足がずぼとはまって、少し困りました。でもボランティアさんが手をかしてくれて安心しました。一年間かけて、大切に育てていきたいです。(Y.M)

★最初はどろの中に入ったら足も手もきたなくなって、いやだなと思ったけど、「ゆっくり入ってゆっくり歩けば大丈夫だよ」って農家の人が言ってくれてほっとしました。田植えはむずかしくてどうしよう、と思ったときもまた、農家の人がコツを言ってくれてよかったです。芽がどうなっているのか楽しみです。(D.I)

★とても楽しみにしていた、あすみ田んぼ！足を田んぼの中に入ると、最初はグニャグニャして慣れなかったけど、あとからどんどん慣れてきました。(▽)「なえは、たてからとるのではなくて、ヨコからとりますよ！」や「なえの深さも気をつけてください」など、いつも米作りをしている人の大変さがわかりました。みんなと楽しくいっぱい学べてとても楽しかったです！(▽)(K.H)

★虫がどろの中に入れてこわかったけど、これが自然か・・・と改めて思いました。やりかたを忘れてこまっていた。すると・・・ボランティアの方が来て私がいまよりおくらしているにもかかわらず、ペースに合わせてやさしく教えてくれました。とてもうれしかったです。楽しい思い出の1つとなったと思います。(Y.A)



あすみっ子田んぼの田植え風景

★苗を植えるときに、こしを低くして植えないといけなくて大変でした。農家の人たちはすべてやらないといけなくてごめたいへんだと思います。自分たちが植えた稲たちが、これからどのように育っていくのか、今からわくわくしています。きっと、農家の人たちも、そのような気持ちでお米を作っているのかな、と思いました。(S.Y)

★田んぼへ入る瞬間まるで真冬の河へ足をつこんだように、足がふるえました。あまり気持ちのいい物ではありませんでした。それに、カエルが泳いでいるのだと考えると、もう死んだような気持ちでした。奥へ行けば行くほど足が重たくなっていき、次第にぬけなくなりそうになりました。しかし、ボランティアの方々も服も手も足もドロだらけにしながらも、一いっしょけん命私達のサポートをしてくれているすがたが見えました。植える時も、ボランティアの方々、そして先生方も気にかけて下さいました。それで、いっしょに「もっとがんばろう。」と強く思いました。(K.M)



◎大椎っ子田んぼ（6月3日実施）

★最初はくさくて、どろの感じよくがあまり好きではなかったけど、雑草をふんだり、色々な場所に入りに行ったりしていたら、少しずつ慣れて深いところも行けるようになりました。たくさんの生き物に出会えてとても楽しかったです。（F.T）

★色々な虫がいてこわかったけど、この虫のおかげで良い土ができていられるのかもしれない。土に苗をさした時にぐにゅという触感がまるでスライムに鉛筆をさしているみたいだった。土を足でふむと指の間まで土がぐにゅっつとはいつてきて気持ちよかった。（Y.Y）

★どろふみではどろがどろどろして田んぼの中にはいっぱい虫やくも、アメンボもいておもしろかったです。班でタガメのような生き物をつかまえて嬉しかったです。岩崎さんにはいろいろなことを教えてもらって楽しかったです。（M.K.）

★最初に入るのがいやだったけど、どんどん慣れて楽しかった。大人のお話もすぐわかりやすかった。田植えをした時は思っていたよりも全然ちがった。あんなに深いところがあるなんて少しこわかったけど、だんだん気持ちよくなってきました。（S.S）

★土ふみのときはけっこういやだったけど、田植えをしてみたら、あんがいかんたんで楽しかった。たのしくてやっていたら、一人が「前に一度やったことある？」とびっくりしながら言った。ちゃんと「いや初めてです」と言っておいた。自然観察ではクモがこわかったのに観察するのが楽しかった。（T.W）

★田植えやどろふみの時、最初はぬめぬめどろどろ気持ち悪かったけど、と中からすぐ慣れてきて楽しかった。けれどどうしてもクモには慣れませんでした。危険な生き物を紹介されたのですが、ぜんぜん出てこなくて良かったです。（M.O）

★どろに入るのが楽しみだったけど、中にある生き物を見たらすごい気持ち悪かった。どろふみをしてだんだんなれてきて少し楽しかった。自然観察のとき生き物をつかまえるのがむずかしかったけど、ともだちと協力して大きいカエルをとったのがすごいうれしかった。（K.N）

★最初のスタッフさんの話がわかりやすかった。土ふみをしているとき、牛ふんで作った土のにおいがした。苗の緑の部分がかたかった。また田植えをしたいと思いました。（Y.W）

★心に残ったのは二枚貝です。海ではよく見えますけど、真水では二枚貝ではなく、まき貝が多いので二まい貝はみられません。ですのとともうれしかったです。（Y.O）

★どろふみはどろからぬけなくなったりして、大変だったけど楽しかった。田植えはかん単だったし、上手にできたので楽しかった。つまり、どっちも楽しかった！！グッ！（A.F）

★田んぼの中に入ったときに、くもや虫がたくさんいて、「きゃーきゃー」とさげんでいる子や、半泣きの子がたくさんいました。私も、田んぼに入ったときに、さげんでしまったし、どろの感触が少しくによぐによいで、足がはまりそうになりました。1本のロープにそっていいに植えました。田んぼから上がったときには手や足がどろどろで汚れていて、水でもなかなか落ちませんでした。帰るときはとてもつかれたけど、とても良い経験になったと思います。（R.M）

★初めにおたまじゃくがいて、捕まえようと思ったら足音でにげられた。アメンボウがいたので捕まえようとして「スー」とにげられた。一匹もとれなくてあきらめていたとき、ざるで捕まえようとして、やっとおたまじゃくし一匹とれました。（H.Y）

★不思議なことがありました。ある所に赤い氷があって、何なんかわからなくて不思議でした。大人に聞いてみると、赤い原因は鉄分がいっぱい含まれているかららしいです。稲を少しずつ入れて行って、これから元気に育つのかな、と心配しましたが、田んぼのおじさんは今年はとても稲がいい、と言っていたので元気に育つと思います。（J.I）



★田んぼの泥ふみで、最初は『うわっ！！何これ！！気持ち悪！！』と思いましたが、田植えの時にはもう慣れてふつうに田植えをして『農家の人はいつもこんなことをしてるんだなあ』などと考えていました。色々あったけどとても楽しかったです。（K.O）

★タニシをふみ、転んでしりもちをついて、とてもよごれました。自然観察で足をふみはずしてくつがとてもよごれました(6回)。色々あったけど楽しかったです。（W.O）

★となりの(トトロじゃない) W.O.さんが、多分タニシをふんで「うぎゃー！」とさげびながらズッコケました。なのでどちらかというと「田植え」というイメージより「事件・事故」というイメージになりました(個人の感想です) (T.S.)





# 里山たんけんレポート

## 第233回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2019年6月2日(日)曇

最近、足を向けていなかった向かいの山の状況確認へ行きました。この1年、手入れをしなかったので荒れていましたが、この桜の若葉でだけ見られているセモンジンガサハムシは今年も健在でした。ひとめぐりして谷津へおりました。たくさんいるニホンカワトンボは子どもたちにも捕まえられる格好の遊び相手です。エゴノキにエゴツルクビオトシブミの揺籃が鈴なりにたくさんぶら下がっていました。名前の通り首の長い虫も見られました。クワの実を食べるにはちょっと早く数粒口に入れられる程度だったのはちょっと残念でした。U字溝に落ちたニホンアカガエルの子ガエルを救出していたらヤマカガシも落ちていて救出したりしました。



鳥の囀りは素晴らしくウグイス、ホオジロ、オオヨシキリ、ホトトギス、シジュウカラ、ヤマガラ、サンコウチョウまで聞けました。カルガモは2羽たんぼで休息していました。コゲラも間近に見られました。

参加 13名 (大人9名、小学生2名、幼児2名 報告・写真 網代春男)

## 第236回 下大和田 YPP「田の草取り」

2019年6月8日(土)曇

午後から雷雨という予報で午前中終了をめでとにたんぼの中の草取りをしました。みんなたんぼにも慣れてあつという間にたんぼはきれいになりました。そこで子どもたちお待ちかねのザリガニ釣りを昼食前から始めました。何故か餌臭いが悪く釣果は今ひとつでしたが10匹をゲットした子どもさんもいました。捕えたザリガニやセスジビルの解説を聞いて集合写真を撮り解散しました。釣ったザリガニは塩ゆでにしてお腹に納めました。



参加 47名 (大人27名、大学生1名、小学生15名、幼児4名)

報告 網代春男・写真 田中正彦

## 里山クラブ 森と水辺の手入れ

2019年6月16日(日)曇

今日は千葉市環境保全課から3名の方が来られて、保全地域の山林の手入れを協働で行いました。西側の山林の倒木や立ち枯れ木を伐採、整理をしました。懸案だった懸かり木のひとつも片づきすっきりしました。



(参加 大人8名、小学生1名、幼児2名 報告・写真 網代春男)

## 第175回・176 小山町 YPP「田植え」

2019年6月16日(日)、23日(日)曇

あざみ谷津の棚田の田起こしと同時進行で緑米の田植えを進めました。16日は少し暑いぐらいの天気、23日は曇りでやや過ごしやすい天気でした。何れも軽快に作業が進み、2回の作業で予定のエリアの田植えを完結しました。



ドクダミの花とコハクオナジマイマイ

6月16日(大人4名、大学生1名)

6月23日(大人3名、大学生1名 報告・写真 たんぼま)



## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 6月 1日 カルガモのつがい、すっかり居ついて寛ぎ様、時折猛烈に索餌（赤シャツおやじ）  
6月 12日 スイレンの花咲く。（たんぼぼ）  
6月 26日 ホタルブクロの花があちこちで咲く（たんぼぼ）

### 下大和田

- 6月 14日 ノシメトンボ出現。（網代）  
6月 16日 アカシジミ、ミズイロオナガシジミ出現。（網代）  
6月 17日 アキアカネ出現。アカトンボの中間の羽化季節到来。（網代）  
6月 29日 カブトムシ出現。（網代）



スイレンの花（撮影 たんぼぼ）

### イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト（YPP）のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）：ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

- ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。  
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。  
・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。  
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任をお願いします。

### ▼第238回 下大和田 YPP 「かかし作り」(8月10日)

### ▼第239回 下大和田 YPP 「コシヒカリ稲刈り」(9月7日)

- ・田んぼの守り神「かかし」を作って田んぼに立てます。
- ・稔ったコシヒカリ、農林1号を刈っておだに干します。

日時：2019年8月10日（土）9時45分～14時 小雨決行  
2019年9月 7日（土）9時45分～15時 小雨決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津

集合：現地 初めて参加する方は駐車場や会場を案内しますので事前に網代（あじろ）090-2301-0413までご連絡ください。

交通：JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行き、ちばフラワーバスで中野操車場バス停下車、徒歩5分で現地。<千葉駅発8:25、8:40など、所要時間45分>料金540円

持ち物：弁当、飲み物、長袖・長ズボンの服装、着替え、帽子、軍手、敷物など。

参加費：ちば環境情報センター会員300円、一般500円（小学生未満無料）、米作り年間参加は別途済み。

主催：ちば環境情報センター 共催 ちば・谷津田フォーラム

### ▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

林内の下刈りや倒木の整理をします。

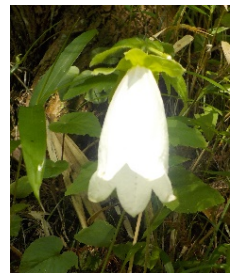
日時：2019年7月21日（日）9時45分～12時 ☆雨天中止

場所：千葉市緑区下大和田谷津 交通：（同上）

集合：現地。初めての方はご連絡ください。（同上）

持ち物：弁当、飲み物、長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、敷物

主催：ちば環境情報センター



ホタルブクロ（撮影 たんぼぼ）

### ▼第235回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

夏の虫の盛り、チョウ、トンボ、カブトムシ、セミなどたくさんの生きものに会えるでしょう。

日時：2019年8月4日（日）9時45分～12時 ☆雨天決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津 交通：（同上）

集合：現地 初めて参加の方はご連絡ください。（同上）

持ち物：筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物。

参加費：100円（小学生以上、資料代など）

主催：ちば環境情報センター、ちば・谷津田フォーラム

### ▼第177回 小山町 YPP 「田の草取り」

田んぼの草を取ったり、畦の手入れなどをします。

日時：2019年7月21日（日）10時～ ☆小雨決行

場所：千葉市緑区小山町 リンドウ広場（ご連絡いただければ地図をお送りします）

持ち物：飲み物、長靴（長めのもの）、帽子、軍手、敷物。

参加費：100円（小学生以上、資料代など）

主催：ちば環境情報センター

■編集後記 小山の谷津田では「令和元年の小学校田んぼ」の授業がスタートしました。地元の方々、学校の先生方、保護者の皆様、ご協力頂く商店様、沢山の方々の温かい気持ちとご助力の上はじめて実現する奇跡のプロジェクトかと思えます。今年度も、子どもたちの声をお伝えして参りたいと思えます。どうぞ、お見守り下さい。（赤シャツおやじ）